



碧南ロータリークラブ週報

第3031回例会 令和4年10月19日(水)

- 会長 長田 和徳
- 幹事 清澤 聡之
- 会場監督(SAA) 縦山 朋久

2022-2023 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 鈴木 洋・長田一希・杉浦保子

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

地区米山記念奨学委員会 委員 手島嘉宏様 (半田南RC)

会 長 挨 拶

本日は気持ちの良い秋晴れとなりました。食欲の秋ですが、皆さんいかかお過ごしでしょうか？

10月には米山月間ということで、地区米山記念奨学委員会の手島様にお越しいただきまして、お話をさせていただきますので、よろしくお願い致します。

さて、今週になってニュースで流れておりますけれども、中国では5年に一度の党大会が開催されておりまして、習近平さんが異例の第3期を務めるということになりそうです。まだ決定はしておりませんので、決定してから色々とお話をしたいと思っております。

本日は財団ということで、中国語のちょっと古い漢字にまつわるお話をさせていただきたいと思います。元々、中国を支配した古代国家は中南海の農耕民族です。世界的に見ると、狩猟民族で動物を食べていた頃は皆に分け与えて食べる文化でしたが、農耕で穀物ができるようになると食料を貯蔵できるようになったので、階級格差が発生して、沢山貯蔵する人がお金持ちになり、財産を持つことができるようになった訳です。その時に穀物の代わりに最初に使われたお金というのが貝でした。古代の殷周の時代の中国では、ベトナムでしか取れないタカラガイを貨幣として使っていたそうです。ですから、漢字で貨幣の貨、財産の財、貯蓄の貯、消費の費、賃金の賃とお金にまつわる漢字には全て「貝」が使われているのはそのせいです。

その後、北方騎馬民族系の清王朝が中国を支配し統一しました。今で言う西安地方の人々



長田和徳会長

は騎馬民族の一部です。穀物が育たない土地ですから、彼らは略奪というのが1つの支配の仕方で、移動する時には食料として羊を連れて行ったそうです。財産を持つことのできない彼らは基本的に気持ちが通じ合うとか、心が通じ合うものを義兄弟として大切にしていたそうです。ですから、心に関する漢字には必ず「羊」が入っております。例えば、美しいの美、忠義の義、定着の着などがそれに当たります。

一概に中国人と言っても、財産を増やすことを優先する農耕民族と、人を支配する騎馬民族系の2つの顔を持っていることを理解しないと、なかなか中国人の考え方を理解するのは難しいと思います。

一口にアジア人と言っても顔は日本人とよく似ておりますが、やはり大陸の方々は我々農耕民族の島国である日本人の感覚からは全く理解できないことが多々あります。今回の党大会もどういう形になるかわかりませんが、日本も熱くならず冷静に隣国の今後を見据えていくべきではないかと思っております。

本日も1日よろしくお願い致します。

幹事報告

幹事報告を申し上げます。

- ・ 知立 RC より例会変更のお知らせが届いております。
- ・ 西尾一色 RC より「ガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会表彰式及びにパーティーについて変更のご連絡」が届いております。
- ・ 次週の例会終了後に指名委員会が開催されます。指名委員に選任されておられます方におかれましては、よろしくお願い致します。



清澤聡之幹事

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 60 名 (内出席免除者 15 名の内出席者 10 名) 出席者 47 名	
出席対象者 47/55 名	出席率 85.45%
欠席者 13 名 (病欠者 1 名)	

<ニコボックス>

地区米山記念奨学委員会 委員 手島嘉宏様 本日、卓話をさせていただきます。分かり易い話しができるかどうか分かりませんが、よろしくお願い致します。

清澤 聡之君 先日、新聞に大～きく載せて頂き、恥ずかしい位です。そして、“てらまちウォーキング”も盛大に開催でき、大変感謝申し上げます。お手伝い下さいました方々、誠にありがとうございました。

- 木村 徳雄君 本日「米山記念奨学事業について」の講師 手島嘉宏氏を紹介致します。手島さん宜しくお願いします。
- 竹中 誠君 鋼逸君ありがとう。妻と娘が大変喜んでいました。
- 鈴木きよみ君 “金婚祝い”を頂きまして、大変感謝致します。ありがとうございます。
- 縦山 朋久君 母校、立教大学の箱根駅伝出場が決まりました。

クラブフォーラム

「米山記念奨学事業について」

地区米山記念奨学委員会 委員 手島嘉宏様



手島嘉宏様

只今ご紹介いただきました地区米山記念奨学委員会の委員の手島と申します。所属は半田南 RC です。地区の方から卓話という形でお話をさせていただきますので、温かい心で聞いていただけるとありがたいと思います。

最初に去年の米山奨学事業についてのビデオがありますので、そちらを見ていただきたいと思います。

どうもありがとうございました。皆さんの知っている方が出ていたかどうかわかりませんが、今のが米山の大体の事業になりますので、参考にさせていただきたいと思います。

米山奨学事業の概要なんですけれども、

- ・日本のロータリー独自の事業（日本全国 34 地区の合同活動）
- ・日本で学ぶ外国人留学生の支援（公益財団法人を設立し経営）
- ・世話クラブ・カウンセラー制度（交流を重視 “人を育てる事業”）

ということで、ロータリアンと交流することで留学生の方たちを育てていくということになります。

米山基金から 70 年ということで、1946 年に米山梅吉さんが亡くなりました。1949 年に日本のロータリーが RI へ復帰しまして、平和日本を世界へ届ける為にはどうしたら良いかと考えたところ、二度と戦争を起こさないということで、アジアから優秀な学生を招いて奨学金を支給して支援をし、将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍してもらおうという目的で、1952 年に東京 RC が米山基金という制度を発表しました。それが 5 年後には日本全国の組織になりまして、1967 年には財団法人が設立されました。

これは日本独自の制度なんで、本来は RI とは関係ないという形だったんですが、大体 2000 年頃から RI でも取り上げられるようになってきてまして、

- ・2002 年 ロータリー研究会のプログラムに
- ・2004 年 RI 理事会で米山記念奨学事業が称賛される
- ・2007 年 ロータリーの多地区合同活動としての手続きを完了
- ・2014 年 RI が学友の定義拡大、米山学友も「ロータリーの学友」に
- ・2016 年 ソウル国際大会で初の分科会開催

ということがありました。

米山記念奨学事業は日本最大級の民間による奨学生の援助をしております。2022年度は898人で、累計では22,875人に奨学金を支給しております。国としては中国が一番多くて、次にベトナム、韓国という順番です。

奨学生数の決定と選考ということで、採用基準は全国統一で、

- ・ 勉学への意欲、人物面・学業面が優秀、将来日本との懸け橋になり得る人材
- ・ 家庭状況、経済状況は評価対象外

になりまして、留学の目的、将来の目標、交流への熱意、人間性、人柄、コミュニケーション能力と地区裁量によって採用しております。2022年度は53人で、2023年度は53人～ということで予定しております。

寄付金の状況について説明させていただきたいと思います。2001年は約17億円だったんですけれども、ロータリアンの総数が減ってきている影響もあってか、2021年は約13億4千万円になっております。寄付金の種類として、普通寄付金と特別寄付金があります。普通寄付金というのは、ガバナーと各クラブで決められた金額をほぼ強制的に寄付をするというものです。特別寄付金というのは、個人が1円～任意で寄付をするというものです。

寄付実績なんですけれども、全国平均寄付額は15,971円、2760地区の平均寄付額は15,126円ということで、若干下回っております。基本的には平均値より上を目指しておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

巣立った米山奨学生ということで、学友会（国内33、海外9）というのがありまして、そちらで活動しております。そして、学友からロータリアンになられた方が272人、ガバナーになられた方が3人いらっしゃいます。

恩返しの気持ちということで、学友から寄付をいただいております。東日本大震災の時には約760万円、熊本大地震の時には約20万円、熱海土砂災害の時には約150万円、その他の学友からの寄付が累計4,506万円、遺言寄付が200万円になります。

知っておいていただきたいこととして、2年に1度開催される米山学友の世界大会というのがあります。今回は「再来 in 関東」ということで、2023年8月5～6日に茨城県つくば市で開催されますので、是非ご参加していただきたいと思います。

以上で終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和4年11月2日（水）は定款第7条第1節（d）（1）による休会
令和4年11月9日（水）

クラブフォーラム「ロータリー財団を活用しよう」

地区補助金委員会 委員長 藤野直子氏（名古屋名東RC）